

- **界面活性剤（8種、第4級アンモニウム塩1種を含む）**
 - 今回の検証試験ではアルキルベタインはどの機関の試験においてもウイルス感染価の減少は認められなかった
 - 脂肪酸アルカノールアミドは、0.1% 濃度、5分の反応条件で2桁以上のウイルス感染価の減少が見られた
 - 塩化ベンザルコニウム（第4級アンモニウム塩）は、0.1% 濃度、5分の反応条件で2桁以上のウイルス感染価の減少が見られた
 - 脂肪酸カリウムは、0.1% 濃度、5分の反応条件で3桁以上のウイルス感染価の減少が認められた
 - 上記以外の界面活性剤4種は、0.1%濃度、5分の反応条件で4桁以上のウイルス感染価の減少が認められた
- **次亜塩素酸水（電気分解法で生成したもの） 4種**
 - 今回の試験に供した次亜塩素酸は、すべてのサンプルにおいて1分、5分の反応時間で4桁以上のウイルス感染価の減少が認められた